



新年の挨拶

神奈川県くらし安全防災局防災部工業保安課

課長 関 猛彦



新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会会員の皆様には、令和2年の新春を健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から皆様には、神奈川県の高圧ガス防災事業について、自主保安活動を積
極的に展開していただくとともに、本県の工業保安行政に、ひとかたならぬお力添えを
頂き、厚くお礼申し上げます。

貴協議会におかれましては、「高圧ガス運送基準指導講習会」や「運送指導員講習会」
の開催、高圧ガスバラ積み容器運送車両の点検指導を通じて、高圧ガスに携わる人材の
育成、防災意識の向上に努めてこられましたこと改めて感謝申し上げます。

こうした御努力のお陰で高圧ガス運送員の保安意識が向上し、近年、高圧ガスの運送
途上における大きな事故は、発生していません。

さて、昨年度台風により、県内において、ボンベが土砂に埋まる被害や海に流出する
などの被害が生じました。

また、太平洋岸の広範囲で被害が予想される南海トラフ地震が、今後30年以内に70～
80%の確率で発生する可能性がある」と指摘されており、災害への備えが急務となってい
ます。

そうした中、昨年10月3日に実施しました「高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、貴
協議会から大勢の方に御参加いただき、日頃の鍛錬の成果が十分に発揮され、大変有意
義なものとなりました。

特に高圧ガスの運送途上訓練は、ガスの漏えい、拡散を想定した緊急措置及び除害活
動等に係る実践的な訓練で、警察や消防と連携し、見学者への説明についてもわかりや
すく工夫していただいたことにより、例年以上に臨場感が伝わる良い訓練となりました。
また、貴協議会は、警察・消防をはじめ、関係機関との緊密な連携・協力関係のもと、
40年以上も前から移動途上における高圧ガスに係る災害防止に努めてこられました。

特に、昨年度は、「行政・警察・消防・防災事業所連絡会議」において、高圧ガスの運
送途上における事故を想定し、各機関でどのような対応ができるか検討を行いました。

こうした中、万一、大規模な地震などの災害が発生した場合、高圧ガスの保安の確保
は、ライフラインの復旧に不可欠なものであり、今後とも皆様に期待される役割は、非
常に大きいものがございます。

今年は、過去の事故をもとに、各地区において事故の対応について検討を行うと聞い
ておりますので、是非その検討結果を活かして、防災事業所制度の更なる向上に努めて
いたたければと考えております。

最後に貴協議会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈りするとともに、この
一年が事故災害ゼロの明るい一年になることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

令和元年度(第14回)神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

令和元年度(第14回)神奈川県高圧ガス火薬類保安大会が10月30日(水)神奈川県立県民ホール(小ホール)にて開催され、当協会からは会長表彰として3事業所、2名計5者が受賞されました。

また、大会終了後の記念講演では「『危険物事故における現場対応』～高圧ガス火災の教訓・二つの安全～」と題して一般財団法人海上災害防止センター業務部長 萩原貴浩様より講演をいただきました。



— 公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会 会長表彰 —

• 優良防災事業所



株式会社サガミ



株式会社セントラルガスセンター
横須賀センター

• 保安功労事業所



株式会社ホームエネルギー西関東
横須賀センター

• 保安功労者



東亜合成株式会社 横浜工場
阿久津 真太郎



大陽日酸株式会社 川崎水江事業所
小林 芳彦

(敬称略)

2019年度(第47回)神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

2019年度(第47回)神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練が相模原市淵野辺公園多目的広場において10月3日(木)午後開催されました。

当日は天候にも恵まれ、訓練は竹村くらし安全防災局副局長(訓練本部長)の開会挨拶にはじまり、「高圧ガスの燃焼特性の紹介:(一社)神奈川県高圧ガス保安協会」、「高圧ガス基本措置訓練:(一社)神奈川県高圧ガス流通保安協会、(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会」、「高圧ガス地震防災訓練(LPガス緊急措置、復旧訓練):(公社)神奈川県LPガス協会」、「高圧ガス地震防災訓練(運送途上緊急措置訓練):(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会」と訓練が順次進み、最後に(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会布施会長の閉会挨拶をもって終了となりました。



本部長挨拶



集合



空気呼吸器装着、容器収納訓練



運送途上緊急措置訓練



会長挨拶

2019年度部会県外研修見学会について

本年度の県外研修見学会を10月17日（木）から18日（金）の1泊2日で計画致しましたが、直前の台風19号による浸水被害等で初日に見学予定であった「埼玉県防災訓練」が中止になったこと、二日目に見学予定であった「陸上自衛隊相馬原駐屯地」が災害派遣対応中であることを考慮し、急遽中止とさせていただきます。

本年度内の再企画、実施は協会事業等の関係で困難であるため、止む無く本年度の当該研修見学会は中止とし、次年度に向けて十分議論、準備を進め、確実な実施を実現していきます。

当該見学会は昨年度に続き2年連続の中止となり、参加をご予定いただきましたの会員の皆様にはご迷惑をおかけしましたこと、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

来年度以降も引き続き他県の訓練視察など県外研修見学会を実施していきますので一人でも多くの方に参加いただき、保安防災意識の向上に役立てていただきたく、重ねてお願い致します。

2019年度運送員及び運送指導員講習会の開催実績報告

本年度の運送員/運送指導員講習事業は12月4日の横浜：鶴見公会堂をもって終了しました。

地 区	開催日	会 場	今年度受講者数		昨年度受講者数	
			運送員	運送指導員	運送員	運送指導員
川 崎	7 月 17 日	かわさき保育会館	177	—	181	—
横 三	7 月 25 日	横須賀市文化会館	103	149	149	146
県 西	8 月 7 日	小田原市生涯学習センター	202	—	227	—
県 央	9 月 11 日	相模原南市民ホール	227	267	273	261
横 浜	10月 8 日	神奈川公会堂	280	301	314	345
湘 南	11月 8 日	藤沢市民会館	254	253	281	279
横 浜	12月 4 日	鶴見公会堂	219	185	290	207
計			1,462	1,155	1,715	1,238

ミニ防災訓練の実施事業所と実施日

2019年度のミニ防災訓練は、予定事業所における諸事情により、6地区のうち、県央地区を除く5地区での実施となります。

地 区	実施予定日（実施済み含む）	実施事業所名
川 崎	2020年 1月31日	昭和電工(株)川崎事業所
横 浜	2020年 2月14日	(株)大八 横浜金沢充填所
済 横 三	2019年11月27日	(株)サガミ
湘 南	2020年 2月26日	地区合同（平塚競輪場）
県 央	事業所都合により中止	東京ガスエネルギー(株)神奈川支社
済 県 西	2019年9月19日	(株)古川

会員事業所紹介

株式会社フジプロ

弊社は、昭和30年にプロパンガスを扱う商店として、この湘南の地に創業いたしました。藤沢プロパン瓦斯株式会社として事業を行ってまいりましたが、プロパンガス専門の会社から、エネルギー総合企業へと成長し始めたことをきっかけに、2007年、現在の『株式会社フジプロ』に社名変更いたしました。一般住宅から業務用特需施設まで幅広い業種的设计・施工・供給の実績を重ね、エネルギー会社の専門業者として根付くことができました。お客さまへ質の高いサービスを提供できるよう、ユーザーサービス、オーナーサービス、そしてサブユーザーサービス—それぞれのお客さまにスタッフを専任化し、「One to one」サービスを展開。お客さまとのコミュニケーションを深め、お客さまの求めるものを把握し、その実現に取り組むことで、フジプロはお客さまサービスのノウハウを日々蓄積し進化させています。

ガス供給の展開を進める中で、アパートオーナーの高度なニーズにも応えるべく不動産部門（タイガー&アソシエイツ）も設立。不動産管理・資産運用・各種コンサルティングなど、さらに幅広く対応できる体制を構築。特に全米不動産管理業協会が発行する不動産管理及び資産運用の世界最高峰の資格であるCPM（認定不動産経営管理士）を国内でいち早く取得し、オーナー様の真の利益を実現できるサポートを行なっています。

“ガスを使ってもらえる市場で、自分たちには何が出来るのか？何が喜んでもらえるのか？”自らに問いかけた結果、「住宅そのものをサポートしていく」という考えに行きつき、その考えを具体化するために、2011年には「ecopro 湘南」部門を立ち

上げ、本格的な住宅サポート事業を開始。「出来るサービスは何でもやる」という考えのもと、家電量販店と提携しての家電販売から、住宅オール電化・リフォーム・住宅用・産業用太陽光発電システムの取扱いなど、業務範囲をさらに拡大させました。

1つの専門分野を発展させ、そこから裾野を広げていくこと。一か所に留まらずに今出来ることを考える。「常に半歩先を考えると」が大切だと思っております。また、それが「お客さま一人ひとりへ豊かな暮らしをお届けすること」に繋がっていくと確信しております。常にお客様に寄り添い、頼られる存在になれるよう、地元に着した活動を継続することで地域に貢献できるよう努めてまいりたいと存じます。今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様方には更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



全国農業協同組合連合会 神奈川県本部

本会のLPガス事業は、昭和35年頃から組合員の生活の向上を図ることの重要性について議論され始め、JAグループでのLPガスの取扱いの調査が進められ、昭和37年2月より取扱いを開始しました。

昭和48年にJAグループ独自のLPガス等の供給センターシステムを確立することとして、「LPガス事業近代化推進対策」を決定しました。昭和49年11月に重油、灯油、LPガスの中継・備蓄基地として経済連厚木燃料センターを開設し（海老名市、敷地5,851㎡）、綾瀬、大和等で集中配送を開始しました。また、県下を7～8地域に区分し、各充填基地を中心とする供給センターシステムを形成する準備を進め、昭和50年に厚木ブロックで業務を開始し、以後、藤沢、横浜、小田原基地を開設、昭和52年度末に県内JAグループ全体の供給センター化を完了しました。昭和62年10月、ガス事故のない安全・安心な暮らしを提供するため「集中監視対応型マイコンメーター」の機能をフルに活用したLPガス安全化システム『あんしんキャッチ24』を開発し、全国での設置戸数は130万世帯となっております。

現在、LPガス供給センターとして本会が独自に開発したLPガス事業の総合管理システム「LPガス・トータル・オンライン・システム」を使い、県内JAグループ全体のLPガス事業の管理を行っています。また、お客様のライフラインとして、LPガスを安全・安心にご利用いただけるよう、本会事業所内に保安責任部署としてJA-LPガス保安センターを設置し、県内JAグループ全体の保安の強化を図っており、JAグループ全体の

体制として「24時間365日の保安業務体制」を確立し、通信回線を利用したLPガス安全化システム等のサービス充実にも取り組んでいます。

また、JAグループ独自の施策として営農貢献を目的に、作物の収量・品質向上やコスト削減が期待できるハウス栽培等の施設園芸向けガス機器の普及促進にも取り組んでいます。

今後とも工務店や施設部門と連携したリフォーム及びガス・灯油の共同推進を通じた生活提案、ならびに従来の石油・ガスに電気を加えた最適省エネ・省コスト提案を実施していきます。

今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各社の皆様方には更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



会員事業所紹介

株式会社佐山

弊社は昭和25年、創業者・佐山邦利が藤沢市に一般ガスの販売を目的とした「佐山商店」を開業したことに始まります。創業者の昼夜を分かたぬ大変な努力により事業は順調に推移し、同30年には株式会社組織に変更して、同36年には平塚市須賀に平塚出張所を開設するほどとなりました。

そして同38年には経営の多角化を図るためガス部門に加えて、新たに工作機械・工具・住宅関連資材の販売に乗り出し、同41年に平塚市大原に事務所と貯蔵庫を兼ねた建屋を完成。平塚出張所をここに移転させるとともに、平塚営業所として昇格させました。さらに、同43年藤沢市鶴沼神明に事務所と貯蔵庫、機材倉庫を建設しました。同51年に、藤沢市菖蒲沢工業団地に菖蒲沢営業所と器具倉庫を建設し、藤沢営業所として業務を開始しました。同61年にはさらなる飛躍を図るべく、株式会社佐山商店から現在の株式会社佐山へと社名を変更し、平成10年に本社を同地に移転しました。平塚営業所は平成2年に分離して別法人としており、この結果、株式会社佐山は藤沢市に集中特化した経営体制を敷いています。

現在、弊社は以下の4部門を取り扱い、お取引先各位の広範なニーズにお応えしております。

- ・ガス部門(各種高圧ガスの販売、各種医療ガスの販売、特殊配管設備等)
- ・溶接機材部門(電気溶接棒・溶接用器具材料の販売や自動溶接ラインの設計施工など)
- ・工作機械部門(金属加工機械・鍛圧機械・NC工作機・変電設備などの販売)
- ・建設荷役部門(クレーン設備・建設荷役設備など)

この中でガス部門、とくに高圧ガスの扱いにおいては、お客様に安全かつ安心してお使いいただけるよう、全社員が「保守なくして販売なし」の合言葉の下に、お客様にとって本当にお役に立つ情報の提供や各種の提案

を行い、お客様から強く信頼され、全面的に頼りにされる。そんな企業を目指して社員教育を強化しています。

弊社はお蔭にて、令和2年に「創業70周年」を迎えます。「地域のお役に立つ・お客様のお役に立つ」固い信念の下にスタートしてから大変に多くのお客様に支えられ、また業界の諸先輩等の暖かいご指導ご鞭撻を戴いて今日に至ることができました。この場をお借りして改めて、感謝とお礼を申し上げたいと存じます。

現在の代表者は3代目となります。企業としては「ねじから産業ロボットまで」広範な部門を扱ってはおりますが、これからも創業者の掲げた「創業の心」を絶対に変わらない不変の企業理念として固く守り続け、産業構造・事業構造の変化にも対応して、いつも、いつでもお客様に寄り添わせて戴く、そんな企業を目指していきたくと考えております。

今後とも社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会の会員各社の皆様を始めとして社団法人神奈川県LPガス協会及び会員の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社トーエル 厚木工場（営業所）

弊社は、1963年(昭和38年)神奈川県横浜市の創業から生活に密着したライフライン事業に携わり、関東圏を中心に52万世帯のお客様にLPガス・ピュアウォーターの供給・販売を行っております。

創業以来、常に非常事態に備え、対策を講じてリスク管理を行い、安定供給を行うことを常に考えております。災害に強いエネルギーであるLPガスを災害時だけでなく、日常よりご使用頂くため、防災意識の高いお客様にLPガスを主とした独立エネルギーシステムのご提案を行っております。

厚木工場(営業所)では、1974年より高圧ガスの製造に携わり、長年にわたって保安の確保に努め、地域に密着した事業活動を行ってきました。

2011年より同敷地内にアグリ事業として、イチゴの栽培・出荷を行っております。

2014年には厚木工場(LPガス充填工場)は、経済産業省より「災害時対応中核充填所」に指定されました。従来のLPガス自家発電設備をリニューアルし、新たに衛星通信設備の配備を行うなど、充填工場としての機能を更に強化、災害発生時には電力が停止しても自家発電によるLPガス充填が可能、衛星電話による緊急連絡体制と現在保有しているLPガスオートスタンド及びLPガス配送車を活用することにより、お客様へ安定したLPガス供給が行えます。

2016年には、LPガス容器再検査工場をリニューアルしました。8～50キロシリンダー容器の再検査に全自動の非水套検査機を導入、コンピュータで制御し、検査能力が向上しております。

2017年12月には、バルク貯槽20年告示検査に対応するため、敷地内にバルク屑処理工場を新設し、廃棄バルク貯槽の受け入れを行っております。水置換方式を採用し、廃水も高温燃焼させるため、産業廃棄物を出さない環境面を配慮した施設となっております。

危害予防規定・日常点検・月例点検・設備台帳の整備の他、製造設

備保安整備カレンダーを整備し、設備の維持管理を確実に実行しており、耐震性向上への取り組みとして高圧配管にフレキシブルホースを17ヶ所挿入し、安全と保安の向上を図っております。また、バルク貯槽20年検査のピーク時における残ガス改修を考慮し、施設の改善、保安対策を施し、安全にバルク貯槽を受け入れる体制を整えています。

近年、「想定外」とされる自然災害が各地で発生しています。これなら大丈夫という考え方は通用しません。現状に満足せず、さらなる保安の向上、安定供給確保のための施策を講じていきます。

これからも地域に積極的に貢献すると共に常にライフライン事業者であることを念頭に置き、創業者の経営理念である『商いは全ての人に仕えること』をモットーに、これからもお客様にお選びいただける企業となるよう全力を尽くして参ります。今後とも公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会、会員各位の皆様には、更なるご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



2019年度危険物運搬車両に対する路上取締りの実施結果について

1 実施期間

2019年11月1日から30日までの1ヶ月間

2 実施内容

この路上取締りは、警察庁生活安全局の協力依頼に基づき毎年11月に実施しているもので、危険物（火薬類、高圧ガス、消防危険物、毒物及び劇物、放射性同位元素）を運搬している車両を対象に県（工業保安課及び関係地域県政総合センター環境部）または指定都市消防局（横浜市、川崎市、相模原市）、警察及び消防署が合同で実施しています。

3 高圧ガスに係る路上取締り実施結果概要

(1) 2019年度実施結果

路上取締りを行った124台のうち16台に違反があり、その内、一般高圧ガス運搬車両が9台、液化石油ガス運搬車両が7台でした。また、運搬形態別の違反件数は、タンクローリー車が4台、その他（バラ積み）の車両が12台でした。

表1. 路上点検結果総括表 (点検台数(その他)：一般と液石で重複1台あり)

実施機関	実施年月(回数)	タンクローリー						その他						計					
		点検台数		適合台数		違反台数		点検台数*		適合台数		違反台数		点検台数*		適合台数		違反台数	
		一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石
工業保安課	2019年11月 (12回)	7	1	7	1	0	0	12	3	9	3	3	0	19	4	16	4	3	0
横浜市	2019年11月 (14回)	2	6	2	3	0	3	16	7	13	5	3	2	18	13	15	8	3	5
川崎市	2019年11月 (7回)	2	1	1	1	1	0	5	6	4	6	1	0	7	7	5	7	2	0
相模原市	2019年11月 (3回)	2	3	2	3	0	0	4	2	3	2	1	0	6	5	5	5	1	0
県央地域県政C	2019年11月 (5回)	4	2	4	2	0	0	10	7	10	5	0	2	14	9	14	7	0	2
湘南地域県政C	2019年11月 (6回)	0	7	0	7	0	0	4	6	4	6	0	0	4	13	4	13	0	0
県西地域県政C	2019年11月 (3回)	0	2	0	2	0	0	2	2	2	2	0	0	2	4	2	4	0	0
合計	(50回)	17	22	16	19	1	3	53	33	45	29	8	4	70	55	61	48	9	7

なお、違反車両の業態別内訳は、次のとおりで、運送業者の車両の違反件数が多くなりました。一層の法令遵守が求められます。

表2. 違反車両の内訳 (単位：台)

	運送業者	販売業者	工事業者等	合計
一般	3	3	3	9
(内、県外)	(2)	(1)	(0)	(3)
液石	5	0	2	7
(内、県外)	(3)	(0)	(0)	(3)
合計	8	3	5	16

(2) 2019年度路上取締りに係る違反・不備による指導の内容

主な違反及び不備により指導を行った内容は下記のとおりです。

主な違反事項

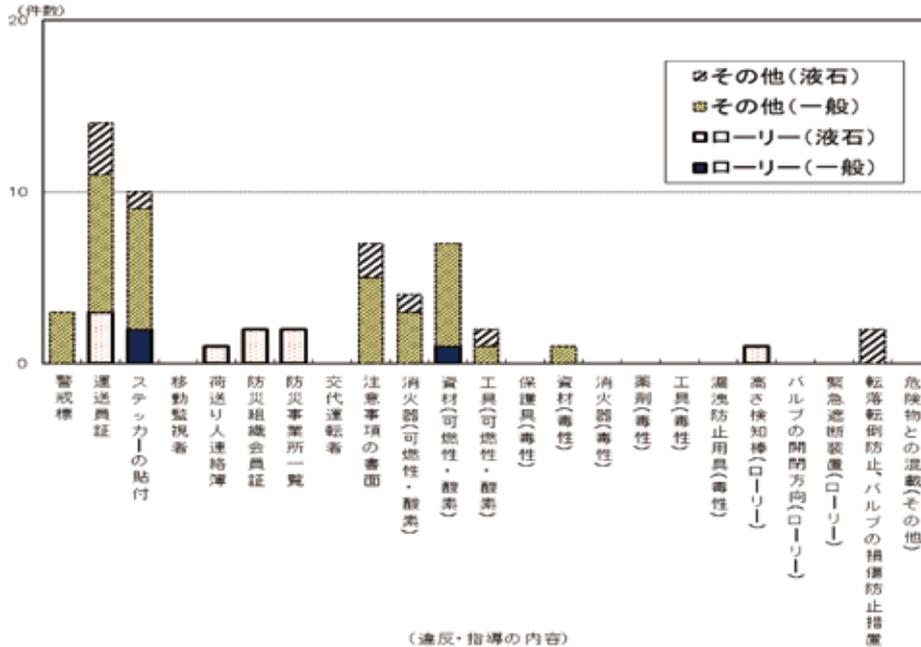
- ・ 資材の積載なし又は不足(可燃性・酸素)：6件
- ・ 注意事項の書面(イエローカード)の不携帯：5件
- ・ 警戒標の未掲示、大きさ違反：3件
- ・ 転落転倒防止措置の不備：2件
- ・ 防災組織会員証(指定数量以上)の不携帯：2件

主な不備事項

- ・ 運送講習の未受講等：14件
- ・ 自主点検の未実施等(ステッカーなし)：10件
- ・ 工具の一部未積載：1件

本年度の要注意点

- ・ 本年度は、一般高圧ガス運搬車両の違反率が最も高い水準となりました。特にバラ積み運搬車両における、資材等の積載不足が目立ちます。運行前に必要な資材、工具、書類等の携行品の確認を徹底するようにお願いします。
- ・ 販売店は消費者である工事業者等に対し、高圧ガスの移動に関する基準の周知をする立場ですので、販売時に周知文書等を用いて移動時の注意事項等をしっかり伝えてくださるよう、今一度確認をお願いします。
- ・ バラ積み車両においては、容器の積み過ぎ等により車両後部に約30cmの余裕がない状態になっている車両が例年数件見受けられます。無理のない配送計画で運行してくださいませようお願いします。



(3) 県からのお願い

高圧ガス移動に関わる事業者の皆様におかれましては、今後とも高圧ガス保安法第23条(移動)で定める保安上必要な措置及び技術上の基準の遵守と、安全運転をお願いします。

また、県では法令に加え、「神奈川県高圧ガス保安法行政指導指針」により、神奈川県内の高圧ガスの運送者に対して、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会が実施する運送者向けの講習を、決められた期間内に受講することなどを定めています。少量高圧ガス移動車を除くすべての高圧ガスの運送にあたり、ご受講いただきますようお願いいたします。

(参考)過去5年間の路上取締りの結果一覧 (* 一般と液石で重複1台あり)

年度	タンクローリー						その他						計							
	点検台数		適合台数		違反台数		点検台数		適合台数		違反台数		点検台数*		適合台数		違反台数		違反率	
	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石
R1	17	22	16	19	1	3	53	33	45	29	8	4	70	55	61	48	9	7	12.9%	12.7%
H30	8	18	8	16	0	2	41	25	31	20	10	5	49	43	39	36	10	7	20.4%	16.3%
H29	15	16	15	15	0	1	49	49	46	43	3	6	64	65	61	58	3	7	4.7%	10.8%
H28	12	26	12	21	0	5	54	47	50	40	4	7	66	73	62	61	4	12	6.1%	16.4%
H27	10	17	10	16	0	1	53	43	44	34	9	9	63	60	54	50	9	10	14.3%	16.7%

問合せ先 神奈川県くらし安全防災局防災部
工業保安課高圧ガスグループ
電話 045(210)3484(直通)

お知らせとお願い

2019年度第4回高圧ガス移動監視者講習会開催予定

指定する高圧ガス（可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス）を一定数量以上移動（輸送）するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
〔講習〕 2020年1月22日(水)～23日(木) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 〔検定〕 2020年2月7日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩12分	80名

2020年度講習会（運送員・運送指導員）日程及び会場（予定）

回	実施日	会場	運送員	指導員
1	2020年7月10日(金)	かわさき保育会館	○	—
2	〃 7月16日(木)	横須賀市文化会館	○	○
3	〃 8月20日(木)	小田原市生涯学習センター	○	—
4	〃 9月25日(金)	厚木市文化会館	○	○
5	〃 10月14日(水)注)	神奈川公会堂	○	○
6	〃 11月11日(水)	茅ヶ崎市市民文化会館	○	○
7	〃 12月10日(木)注)	鶴見公会堂	○	○

注) 第5回及び第7回の会場予約が6か月前の為、開催日が変更となる場合がありますので、直近の案内書、協会ホームページ等でご確認ください。

2020年度「行政・警察・消防・防災事業所連絡会議」実施予定日

回	地区	講習日	開催会場
1	川崎	2020年6月12日(金) 午後2時より	かわさき保育会館
2	横須賀・三浦	〃 6月16日(火) 午後2時より	横須賀市文化会館
3	湘南	〃 6月18日(木) 午後2時より	平塚商工会議所
4	県西	〃 6月23日(火) 午後2時より	おだわら市民交流センター
5	横浜	〃 7月2日(木) 午後2時より	波止場会館(横浜市港湾労働会館)
6	県央・相模原	〃 7月8日(火) 午後2時より注)	サンエールさがみはら

注) 会場予約が5か月前の為、会場、開催日が変更になる場合がありますので、直近のご案内等でご確認ください。

協会事務所移転のお知らせ

2月22日(土)をもって下記の住所へ移転します。2月25日(火)より通常業務を行います。

〔新住所〕〒231-0015

横浜市中区尾上町1-4-1 関内STビル11F(電話番号・FAX番号は変更ありません)

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局あてお送りください。

・社名変更 ・組織変更 ・住所変更 ・電話/FAX番号変更 ・協議会ご担当者変更等

【事務局：電話045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail:jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp

URL:http://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp

※「所定の様式」は、ホームページからもダウンロードできます。